

あなたと市政をむすぶ



広報
No.192

かんおんじ

2021 / 令和3年

10 October

観音寺市役所

KAN-ONJI
CITY OFFICE



白川市長勇退インタビュー

特集

旧観音寺市から7期26年



特集

旧観音寺市から7期26年

白川市長 勇退インタビュー

ことしの6月定例会市議会で、11月19日の任期満了をもって引退することを表明した白川晴司市長。平成7年6月に旧観音寺市長に就任後、平成17年10月の旧観音寺市、大野原町、豊浜町の合併により発足した新観音寺市の市長として、通算26年観音寺市の市政運営を行いました。退任にあたり、白川市長にお話を聞きました。

26年を振り返って

私は49歳で旧観音寺市の市長となりました。就任後、青年市長会で全国の若手市長と語り合ったことが懐かしいです。それがもう75歳になり、後期高齢者の仲間入りをしたのだから、時がたつのは早いものです。

26年を振り返ると、走馬灯のようにいろいろなことが頭の中に浮かんできます。26年間、苦しい時もありましたが、楽しかったです。これほどやりがいのある仕事はありませんでした。さまざまな問題に取り組んで、成就した時の喜びは大きく、また、大変名誉のある仕事でした。市長職というのは、365日休みのない仕事です。ストレスやプレッシャーがかかる仕事ですが、観音寺市を住み良いまちにしたいと、一心不乱に取り組むことにやりがいを感じたからこそまでやってこることができたのだと思います。

長年、私に市長職を任せていただいた市民の皆さんに心から感謝しています。

印象に残る事業

全ての事業に思い入れがありますが、中でも苦労したのは、市民生活に直結した3つの施設、し尿処理場・火葬場・ごみ処理場の移転でした。どれも広い土地が必要であり、多額の費用がかかるため、広域的な協力が不可欠な事業です。

土地を探し、地元の方々と対話を重ね、やっと前に進んだ矢先に市町合併の影響で白紙になった事業もありました。あの時は私自身大変悩み、当時の担当職員にも苦労をかけたと思います。

しかし、多くの方の協力により、し尿処理場と火葬場は市内に無事移転、ごみ処理場は全国に先駆け、民間施設を利用してごみ処理を行う方針に転換することができました。

平成の大合併 新・観音寺市へ

もう一つ、在任中の大きな事業として、「平成の大合併」があります。近隣の市町で合併の協議を重ねてきましたが、どの自治体にも自分の市や町に対する誇りがありますから、当然、考え方の違いがありました。当時の平野大野原町長、佐伯豊浜町長のご尽力のおかげで、最終的に大野原町、豊浜町、旧観音寺市の1市2町で合併することができました。

合併後、市民の皆さんの信任をいただき、新市の初代市長に就任しましたが、最も意識したことは、一体感の醸成でした。合併して良かったと思っていただくにはどうしたら良いかと。それは今でも念頭にあります。そのためにいろんな会合に出席し、市民の方との対話に努めてきました。

災害や事故から学ぶ 命を守る環境づくり

市町合併直前の平成16年8月、台風が当時の1市2町に大きな被害をもたらし、残念ながら、亡くなった方もいました。この時、災害に備えるための環境整備の必要性を強く感じました。

老朽化した市役所庁舎、市民会館、校舎などの施設は、合併特例債を活用して整備しました。また、事故や火災の防止、緊急車両が通行しやすいよう、市内道路の整備・拡張を行ってきました。

令和8年に竣工予定の高速道路スマートインターチェンジも同様です。中心市街地へアクセスしやすくなり、物流の効率化や企業誘致の促進、観光振興が期待できるのももちろんですが、平成28年に柞田町で大きな交通事故があった際、市内の病院だけでは対応できず、市外の病院

へ搬送する際に時間がかかったことが整備を決めたきっかけです。

市の体力をつける

一過性ではなく、永続的に市の体力をつけるためには、税収を増やす必要があります。そのため、山田産業団地、県の事業である観音寺^{（観音寺）}屈瀬工業団地の造成に尽力してきました。屈瀬工業団地はまだ工事中ですが、すでに数社からオファーがあります。国からの地方交付税頼みではなく、市独自の財政力を強くする原動力になると考えています。

一つの事業は、発想から基本設計、協議を重ねて完成するまでに、約4〜5年かかります。スピードは大事な反面、慌てすぎると失敗する危険性もあり、確実にしようと思うとどうしても時間がかかります。ですから、事業を次々にやっていくと10年

を戦うことを決めました。人生の岐路に立った時、必ず誰かが私の背中を押し、励ましてくれました。「天の時、地の利、人の和」という言葉がありますが、私は機会や地域性、そして人に恵まれた幸運な人間だったと思います。まちづくりという大きな仕事を遂行するには自分一人では困難です。これまでの経験で得た人とのつながり、そして市民の皆さんのご理解とご協力があったからこそ成し遂げることができたのです。

市長になるまで

や15年はあつという間に過ぎていきます。その積み重ねを26年続けてきました。まだ完成途中の事業もありますが、未来につながるルールは敷けたのではないかと思います。

私は市内に生まれ、市内の小・中学校・高校を卒業した観音寺^{（観音寺）}子。大学で東京に進学し、早くに結婚をしたため生活を築くのに必死で、中型トラックの運転手や建材会社の営業職など職を転々とした時期もあります。

その後故郷に戻って、しばらく実家の事業を手伝った後に喫茶店を開き、早朝から深夜まで働いていました。ある日、妻から「喫茶店は私がやるから、あなたは自分の好きなことをやってみたら？」と言われたのを機に資格を取り、起業して不動産の仕事を始めました。軌道に乗ったところ、友人に「一緒に、国

任期最後の日まで

まずは新型コロナウイルス感染症対策、そしてスマートインターチェンジや工業団地などの事業が一步でも前進するよう働きかけていきます。

11月19日の任期最後の日まで観音寺市のために全力で頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

白川市長の26年

- 1995年（平成7年）
6月 旧観音寺市長に就任
- 1998年（平成10年）
2月 第1回観音寺市民音楽祭開催
3月 第1回観音寺国際音楽フェスティヴァー開催
- 1999年（平成11年）
3月 山田産業団地造成工事開始
3〜4月 姉妹都市アップルトン市から少年合唱団来観
- 2000年（平成12年）
12月 衛生センター（し尿処理場）業務開始
- 2001年（平成13年）
2月 コミュニティ防災センター完成
- 2004年（平成16年）
4月 観音寺市・大野原町・豊浜町 合併協議会設置
12月 新図書館（中央図書館）開館
- 2005年（平成17年）
3月 大野原会館完成
10月 合併により新観音寺市が誕生
11月 新観音寺市長に就任
- 2006年（平成18年）
6月 豊浜総合体育館（すばっしゅとよほま）完成
12月 豊稔池堰堤が重要文化財に指定
- 2007年（平成19年）
8月 日本学生トリアスロン選手権観音寺大会初開催
12月 山田産業団地分譲完了



合併協定調印式



全国各地で市特産物をトップセールス



新庁舎開庁式



- 2008年（平成20年）
2月 ごみ処理の民間委託を開始
3月 観音寺市総合振興計画策定
- 2009年（平成21年）
4月 燧望苑（齋場）業務開始
- 2010年（平成22年）
4月 子ども医療費助成対象を15歳の年度末までに引き上げ
- 2011年（平成23年）
8月 市内幼小中教室に空調設備の整備完了
- 2013年（平成25年）
7月 瀬戸内国際芸術祭2013で伊吹島が初会場に
- 2015年（平成27年）
5月 新庁舎完成・業務開始
- 2017年（平成29年）
2月 伊吹島に防災ヘリポート建設
4月 新市民会館（ハイスタツフホール）開館
- 2020年（令和2年）
3月 屈瀬町を新設（県埋め立て事業）
6月 全国市長会自治功労表彰（永年勤続特別功労）
10月 観音寺スマートIC（仮称）新規事業化決定
- 2021年（令和3年）
6月 第4回定例市議会で引退を表明